

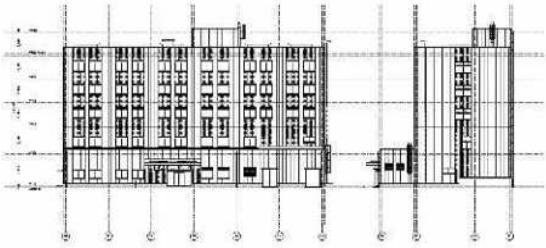
CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	新潟競馬場調整ルーム改築工事	
建設地	新潟県新潟市北区東栄町2-4 外18筆	
用途地域	22条区域	
建物用途	集合住宅	
竣工年	2025年5月 予定	
敷地面積	2,917.06 m ²	
建築面積	723.40 m ²	
延床面積	2,883.21 m ²	
階数	地上5F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2024年1月19日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{38.4}{67.2} = 0.5$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に 使い続けるために	平均スコア 3.0		バリアフリー計画 維持管理 設備の更新性	Q2.1.1.3 Q2.1.3 Q2.3.3	3.0 3.0 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産 を守るために	平均スコア 2.9		耐震・免震・制震・制振 信頼性	Q2.2.1 Q2.2.4	3.0 2.8
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりの ために	平均スコア 2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 2.5		建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用	LR1.1 LR1.2	3.0 2.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づく りのために	平均スコア 3.0		節水 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.1.1 LR2.2.4 LR2.2.6	3.0 1.0 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代 に引き継ぐために	平均スコア 2.0		生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上	Q3.1 Q3.3.2	1.0 3.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の個性や魅力を活か したまちづくりのために	平均スコア 3.0		まちなみ・景観への配慮 地域性への配慮、快適性の向上	Q3.2 Q3.3.1	3.0 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

PS内配管等により設備との錯綜を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築) 2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新潟競馬場調整ルーム改築工事	階数	地上5F
建設地	新潟県新潟市北区東栄町2-4 外18筆	構造	S造
用途地域	22条区域	平均居住人員	85 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2024年1月19日
敷地面積	2,917 m ²	作成者	像設計事務所
建築面積	723 m ²	確認日	2024年1月19日
延床面積	2,883 m ²	確認者	像設計事務所

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =0.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

環境効率 BEE = 0.5

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 137%
③上記+②以外の 137%
④上記+ 137%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能
Q1 室内環境
Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー
LR2 資源・マテリアル
LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.5

音環境 2.0 温熱環境 1.9 光・視環境 2.7 空気質環境 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.5

機能性 1.9 耐用性 2.9 対応性 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

生物環境 1.0 まちなみ 3.0 地域性・地域性 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 2.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 1.9

建物外皮の 3.0 自然エネ 2.0 設備システ 1.0 効率的 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

水資源 3.0 非再生材料の 2.8 汚染物質 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.2

地球温暖化 1.0 地域環境 2.7 周辺環境 3.1

3 設計上の配慮事項

総合

既設樹木や景観を考慮しながら、高さを決めている。道路側への圧迫感を抑えるよう配置した。

その他

—

Q1 室内環境

F ☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。

Q2 サービス性能

設備は耐用年数の長い配管材を採用し建物の長寿命化に配慮している。

Q3 室外環境(敷地内)

道路側への圧迫感を抑えるよう配置している。

LR1 エネルギー

—

LR2 資源・マテリアル

P S内配管等により設備との錯綜を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。

LR3 敷地外環境

—

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される